

## 環境の取り組みを強化

関東道路(筑西市、武藤正浩代表取締役)はこのほど、経済産業省から本年度の地域未来牽引企業に選定された。選定された企業は地域経済の中心的な担い手として、地域経済を牽引することが期待される。武藤社長は今回の選定を受け、これまで同社が実施してきた地域環境への取り組みを強化し、「建設業の枠組みを越え、環境ビジネスをリードする会社となる」とともに、環境をキーワードとしたDXの構築に取り組みむ」などと今後の取り組みについて意気込みを表した。

地域未来牽引企業は、地域経済の中心的な担い手となりうる製造業や卸売・小売業、建設業、サービス業などの事業者を経済産業大臣が選定するもの。この制度は17年度から実施されており、これまで全国で4743者、県内で1333者を認定している。

認定された企業は、地域経済の中心的な担い手として地域経済を牽引していくことを期待される。そのため、認定企業は地域での役割と地域経済を牽引する目標を設定し、実現に向けた事業活動を行うことが求められる。

### 関東道路代表取締役

### 武藤 正浩 氏



認定証を掲げる武藤社長

また、経産省から重点支援策や課題解決に向けた相談、情報提供などを受けることが可能になる。なお、本県の建設業では本年度までに、15事業者が地域未来牽引企業に選定されている。関東道路については、同社が開発した再生合材「エコファルト」で環境大臣表彰および国土交通大臣表彰、茨城県知事表彰を受賞するなど、地域の環境対策に貢献したことで、これまでの実績を踏まえて下館商工会議所が推薦し、その功績を経産省が

## 本年度の地域牽引企業に選定

認定して選定された。エコファルトは、可燃ごみ処理の際に排出される溶融スラグを再生アスファルト合材として再利用するもので、この取り組みは地域未来牽引企業の地域資源型と生活インフラ関連型に当てはまる。武藤社長は「エコファルトによって、地域住民の方が知らないうちに、家庭から出るごみが最終処分されず、建設資材として道路などに活用できる。その効果は、毎年1億円の節税効果をあげている。また、リサイクルによって山砂など天然資源利用の減量化も実現してきた」とエコファルトの効果を説明した。

今回の認定によって、調整区域で工場が建設可能になることやさまざまな助成金が受けられることなどのメリットを紹介し、「いち民間企業ではなく、行政と一体となって、環境型として地域に認知される事業に取り組みめるのではないかと期待している。具体的には、新たな工場新設を視野に入れて進めている」と計画の一端を示した。

今後の取り組みについては「これからも環境問題は避けては通れないものであり、経営理念のひとつになる」と考えている。牽引企業の認定を受け、弊社がベースとしている地域環境への保全と貢献をさらに大きくし、単に利益を追求するのではなく、必ずすべての事業が地域環境に貢献できる仕組みづくりを構築していく」と述べた。

さらに「その際には関東道路1社だけでなく、関連する事業や協力会社、同業者、異業種らと連携し、地域環境への考え方を広め、環境というキーワードをもとにDXの構築を行っていく。そうした取り組みを通じて建設業の枠組みを越え、環境ビジネスをリードする会社にしていきたい」と意気込みを語った。